

アメリカで使用されている実証に基づく リーディング・アプローチのご紹介

○小林 マヤ(志帆)上智大学 外国語学研究科

(要旨) アメリカの臨床現場で使用されている実証に基づきしかも体系化されたリーディング・アプローチを紹介する。“万人に有効なたった一つのアプローチは存在しない”ということは周知の事実であると思うが、臨床では様々なアプローチを組み合わせながらdyslexiaを持つ児童・成人一人・一人にテーラー・メイドした楽しくしかも効果的なセラピーを提供できるように日夜励んでいる。これらのアプローチを日本人児童にも応用した具体例も紹介する。

Key words: Fast ForWord, Lindamood-Bell Learning Processes, Orton-Gillingham, Wilson Reading

1. はじめに

Evidence Based Practice(科学的根拠に基づく臨床)は最近日本の臨床現場でも聞くようになったが、アメリカではこの概念をあらゆる治療・療法に追求し、セラピストも自分のやっていることが果たしてサービス利用者の脳内の神経細胞増加＝新たなスキル獲得につながっているかということを常に念頭におきながらセラピーをするように徹底的に訓練される。

今回は、アメリカで一般的にセラピスト達に利用されている体系化され、しかも実証的データが存在するリーディング・インターベンション・アプローチを紹介する。

